

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成25年12月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100393
法人名	医療法人 友志会
事業所名	グループホーム 良友
所在地	鹿児島県鹿児島市玉里団地二丁目5番1号 (電話) 099-229-8222
自己評価作成日	平成25年11月20日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1階に内科系クリニックがあり、医師2名・看護師・薬剤師が居り医療面のサポート受けやすく、また、受けられるので安心して利用者を預けられると御家族からお聞きする。体調の変化を皆で共有しスタッフとしても安心して皆様を預かり働かせて頂きやすい環境です。スタッフは正社員が多いし新しい社員にも恵まれ落ち着いたケアサービスの提供をしている。死亡退去者が、1人居られ看取り 御家族には感謝された。

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成25年12月3日

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは、母体が医療法人であり、医療機関から定期的な往診があり、緊急時や終末医療にも対応できている。利用者や家族は安心して日々生活している。
- ・施設長は「命」の大切さを重んじ、利用者の実情を把握し、細かな配慮で利用者本位の支援や地域密着型の支援を行っている。
- ・食生活を重んじ、1日30品目を目標に、刻み食・あらきざみ食・ミキサー食・一口大など、体調に合わせて、全量摂取できるよう支援している。
- ・定例の運営推進会議で災害対策を協議し、町内会も協力的で、職員も消防訓練等、いろいろ想定を行い研修している。日頃から災害に際して食料の確保や自家製の梅干等、備蓄している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事務所に挙げ 管理者・職員でいつも再確認し 共に共有し実践にむけている。	地域密着型の理念を作成して、玄関や事務所に掲げ、職員間で、常に理念を話し合い、共有してケアに活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	職場体験学習の地域の中学生の方々と楽しそうに交流され利用者も笑顔があった。デイサービスでの敬老会参加に利用者・スタッフで参加し催しを楽しまれた。	町内会に加入し、地域住民が散歩の時に声をかけたり、入居者と顔見知りになり、挨拶を交わしている。中学生の職場体験学習やデイサービスと合同の敬老会に参加している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域住民の介護相談に施設長が応じている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	町内会長、民生委員の方の御参加により意見を頂きサービスの向上に活かしている。	会議は定期的に行われ、家族代表や民生委員・町内会長等の参加がある。災害対策等のテーマを決めて話し合い、会議録も整理され、サービス向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	上町地域包括支援センターの方々との連携は、協力関係の築きとし 空室状況、ケアサービスや実情についてお伝えしている。	行政との連携を密にし、運営推進会議への要請や認定更新などの書類提出時に利用者の状況等の報告や相談をして、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束はしないで、声かけと見守りし 玄関の施錠をしていない。	身体拘束廃止委員会があり、マニュアルを作成して、研修を積み重ねている。施錠はしていない。職員の目くばりや心くばりで、声かけしたりしている。言葉の拘束や身体拘束をしないケアに取り組んでいる。外部研修にも参加している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	出勤者の連携で防止に努め、誤解が生まれないようにしている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	パンフレット等を使い学びあい活用出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時十分に説明し納得して頂けるようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時や家族会等 皆様の要望をお聞きし 運営に反映できるようにしている。</p>	<p>家族の面会時や電話で、状況報告を積極的に行い家族の意見を聞いている。利用者からは日頃の支援をしながら思いを把握して、情報を連絡帳に記入しミーティングで共有し運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>日々、ランチタイム時等、職員間に意見を聞き反映させるようにしている。</p>	<p>職員と休憩時間や日常のケアの中で気軽に会話したり、ミーティングの時に職員の意見や提案が出しやすい雰囲気を作り、職員が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。業務面だけでなく個人的相談も気軽に受け、意見を反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>2年前ロッカールームも整備され 働き易い職場環境になっている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修を受ける為の勤務調整をし、参加出来る配慮をして頂いている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム玉里の管理者と交流する機会、スタッフとの機会があり サービス向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
サービス向上に努めている。					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	各々のスタッフが困り事をお聞きし、情報の共有に努めて、安心確保の関係作りをしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の不安や要望に傾聴して関係を作る努力をしている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御家族の理解と協力を得て少しずつでもより御本人の為になるサービスに努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	暮らしを共にしている者としての支えあう関係にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族と本人の絆を大切にして共に本人を支えている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	以前からの大切な幼馴染等の方の来所等 お話される事を大切にし 馴染みとして来た関係作り支援に努めている。	以前暮らしていた自宅付近や馴染みの場所にドライブしたり、家族の協力で墓参りや外食をしている。近所の友人が自分で作った花や野菜を持ってきたり、訪問して懇談をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないように関わり 利用者同士が一緒に過ごす食堂のテーブル配置に気配りし 関わり合えるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要時相談支援に 努めるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	普段もですが、御家族の来所に伴い 意向の把握に努め困難な時にも柔軟に本人本位に検討、対応している。	本人の表情やしぐさで思いや意向を汲み、スタッフで情報交換し共有している。困難な場合は家族の面会時や電話報告の時、思いを聞き、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	把握に努め 次のステップに活かすようしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	申し送りノート記入をし 他のスタッフは内容の把握に努め 次の現状に望んでいる。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	それぞれの意見を参考にしながら現状に沿う介護計画にしている。	本人や家族、関係者の意見や情報を集約して介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施している。変化があった時は、そのつど見直して、現状に合った介護計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	時間を申し送り時等決めて話し合い 情報を共有し介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	それぞれの一人のその状態に応じてサービス出来るよう取り組み柔軟な支援をするようにしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	日々の買い物は近所だし、体調良く暮らせるようにし 色紙等購入して 落ち着いて暮らし事故に繋がらないようにしている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診を受けれるよう支援し、御家族の希望を大切に安心出来るようにしている。	本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。歯科、耳鼻科、眼科は家族が同行している。母体医療機関からの定期的往診があり、連携をとりながら適切な医療を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日々の関わりの中にとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員は 同一敷地内クリニック内看護師に相談し 対応に努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	胸水が溜まり入院し退院し戻られた方があり 1階クリニックの医師・看護師と情報交換、相談出来る体制がある。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化と終末期のあり方を御家族と話し合うようにしている。	重度化や終末期に向けた方針は、入居時に家族に説明して同意書を得ている。介護の進行状況に応じて、その都度、家族と話し合いを持ち、意思を確認して取り組み、職員も共有している。すでに看取りの経験がある。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	常勤勤務の准看護師を中心に急変時対応や初期対応について訓練して身につくようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>非常時対応について日頃から消防訓練等通じ いろいろな場面想定しての学び、話し合いをしている。町内会長さんが協力して下さっている。</p>	<p>災害対策として定期的に防災訓練を実施している。マニュアルを参考に昼夜間の場面を想定して研修している。非常警報で近隣の住民との協力体制がある。火災報知器やスプリンクラーなどが設置済み。災害時の水や食料等の備蓄や梅干の保存食もある。地域の避難場所としての受け入れ態勢もできている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し 視線を合わせ 誇りやプライバシーを損ねない温かい言葉と対応をしている。	言葉かけは特に注意して尊厳とプライバシーに配慮し、さりげないケアをしている。トイレもカーテンで仕切りプライバシーが守れている。馴れ合いにならないように研修や勉強会でも質を高めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の中で本人の思いからの希望の表し等 自己決定出来るように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合を優先せず 一人のペースを守り どのように過ごしたいか、希望をくんで支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	その人らしくある身だしなみ、おしゃれで過ごせるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しめるようにそれぞれの力や好みを活かして準備し利用者が食べやすくなるように介助する。重度化で利用者さんが準備と片付けには応じられなくなりつつあります。	一人ひとりの好みや、食生活の実態に合わせて、きざみ食・あら刻み食・ミキサー食・一口大に切る等、配慮して美味しく食べられるようにしている。食事前に軽い体操もしている。テーブル拭きや片付けができる利用者は職員と楽しく行なっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量が確保できるように一人の状態や力を習慣に応じて支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食堂の洗面台、居室の洗面台で食後の口腔ケアをして状態をチェックしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	トイレ誘導が出来る方は定期的に誘導しトイレでの排泄を支援する。	排泄パターンの日頃のチェックや表情などから、トイレへのさりげない声かけや誘導を行い、オムツの使用を減らす努力をしている。高齢の利用者はベッドでのオムツ交換が多いが、転倒に気をつけながらトイレ誘導の支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食時のバナナや 牛乳又はヨーグルト又は野菜ジュースを取り入れている。食事前に簡単な運動をしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの人格を尊重し 視線を合わせ 誇りやプライバシーを損ねない温かい言葉と対応をしている。	入浴は週3回を基本にしているが、希望や必要時はその都度、入浴できる体制にある。浴室も広く二人介助も対応できる。羞恥心が強く入浴を拒む利用者には時間をかけて支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	声かけし 受け止めて安心出来るようにして、安眠になれるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ協力での状態把握で服薬支援と変化の確認に努め、連絡する。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	花好きな方には御家族より贈られたり ホームでも飾り 気分転換になればと話したり 好みに応じた支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	御家族ずれで病院受診や ご家族との外出で楽しまれるように段取り支援している。他は歩行力が減り外出は難しくなりつつある。	日常的には近隣の公園へ散歩に出かけている。歩行困難な利用者も気軽に外出支援をしている。家族の協力があり墓参りや受診などでの外出を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	服薬や日用品を買われるように小遣いを事務所で預かり 保管しています。その時に応じて御本人に所持していただく事はあります。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人より電話をしたり出来るように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	二年前療養型からの転換の為エレベーター・玄関設備が整い住居らしく居心地よくなり 食堂で、落ち着いて過ごしたり居室で休まれたりされている。	ホーム2階の共用空間はゆったりくつるげる広さになっている。窓が大きく、商店や人の往来が見える。レクリエーションも行なわれ、食後もテレビや雑誌などを見たりして過ごしている。廊下の壁には、風景画が飾ってある。防音や部屋の温度管理もされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルに着く時 座りやすく馴染みの方々との相席になるようにしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人が馴染んだ使い慣れた物で対応できるようにして過ごしやすいようにしている。	電動ベッドやタンスが設置され、部屋は清潔に整理されている。利用者が自宅で使い慣れ親しんだ小物や写真・タンスなどを持ち込み、その人らしく個性のある部屋になっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	出来る事をみつけて少しずつして頂ける様工夫しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない